

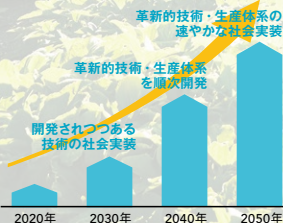
海の資源も、土地の多様性も守る これからの資材製造のスタンダード

気候変動への適応とともに環境負荷の低減が求められている農業界。農薬に頼らず植物本来の力を引き出すバイオスティミュラントなどの新たな資材は持続可能な農業の強い味方になるはずだ。

Text:Kenta Fuchigami

2050年までに農薬使用量を50%減へ！ 農水省「みどりの食糧システム戦略」

ゼロエミッション持続的発展



農林水産省は令和3年6月に、持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食糧システム戦略」を策定した。2050年までに目指す姿として「低リスク農薬への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬等の開発により化学農薬の使用量(リスク換算)を50%低減する」「輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減」などの目標を掲げている。

世界に続き、日本でも進む環境への配慮

地球温暖化対策やSDGs達成への参画が国内の農業者や資材メーカーの課題となる中、欧州で近年注目されているのが農薬を減らし、植物が持つ免疫力を細胞レベルで引き出すバイオスティミュラントと呼ばれる農業資材。海藻などから抽出した天然由来の有機物が含まれ、農作物の細胞を活性化させることで、日照りや乾燥、低温といった環境ストレスに対する耐性を大きく高める効果を実証されている。

国内で先駆けてバイオスティミュラントを販売してきたファイトクロームは9月に新製品「マリンインパクト」を発売。カナダ沖に生息する海藻から抽出した有機成分が

植物本来の生命力を高め、異常気象などによる環境ストレスを低減。収量減少を抑える効果が確認されている。原料採取など製造工程でも持続可能性に配慮するカナダの海藻資材メーカーが製造を手掛ける。

「日本の農業を継続させていくためには、作物の品質向上と収量の安定化、そして自然環境への配慮が必要です。その両立を、私たちは農業資材の販売を通してサポートしていきます」(ファイトクローム 内田社長)。



お話を聞いたのは……
株式会社ファイトクローム
代表取締役
内田 啓祐氏

CLOSE UP

持続的に採集された 海藻バイオスティミュラント



アスコフィラムという海藻の抽出物によるバイオスティミュラント。活性酸素の除去など作物の細胞に作用し、密植や長期採りなど高ストレス下での栽培に特に向く。風害や高温からの回復効果が実証されている。

マリンインパクト

肥料としての有効成分：窒素全量0.1/水溶性加里3.0
対象：作物全般(果樹・芝含む)
価格：1L入り4,400円(税込)/4L入り15,840円(税込)

野生生物との共生を。 獣害対策資材



鳥獣が本能的に嫌う匂いをもつオオカミの尿中成分を高濃度で配合した忌避剤。有効成分の分離・濃縮や製品のスティック化で従来品より効果を高めた。設置する高さの調整で小型獣から大型獣まで対応する。

キープアウト

有効期間：使用開始時(ガラスアンプル破割時)から約3~6ヶ月
設置目安：5~10m間隔で圃場に設置
価格：10本入り1箱 3,850円(税込)